

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	聖隷かがやき 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 26日		～	2024年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	2024年 11月 26日		～	2024年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各関係機関との連携	・ 保育所、幼稚園、子ども園との並行通園児の情報共有 ・ 年1回の公開療育 ・ 園だより配布 ・ 地域の方達との交流	・ 各保育所等との情報共有により、支援の方向性を確認する
2	家族支援	・ 月1回の親子通園 ・ 面談による子育て相談 ・ 保護者会での家族交流	・ きょうだい支援の行事など、利用児だけでなく家族で参加できる内容を検討する
3	親子教室の開催	・ 5月～2月の月1回地域向けの親子教室を開催	・ 定期的な園庭開放を行い、遊びの場所を提供していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所と保育所との交流	・ 日程調整の難しさ	・ 計画的な事業所と職員間との交流で、地域の子ども達との交流の機会を増やす
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 聖隷かがやき 児童発達支援

公表日 2025 年 1 月 21 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	使用する時間帯を決め、面談等とかぶらないようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	会議で意見等を出し合えるように機会を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	アセスメントの聞き取りがしやすいように、事前に聞く内容を書式に書いて準備している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	支援活動前に職員間で共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	記録しながらその日の振り返りをしている。 一緒に記録をしている。一緒に記録をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	各保育所、幼稚園、子ども園と利用するこどもについて、情報共有を行い相互理解に努めている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	移行支援シートにも書いて情報共有を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	勉強会、研修会での事例提供を行うことで、支援の質向上に努めている	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	▲ ▼	▲ ▼		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		行事計画作成にて交流を実施できるように取り組んでいく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	クラスだよりや園だよりで最近の出来事をお知らせしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	毎月訓練を実施	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	ヒヤリハットを全職員で共有し、再発防止に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	聖隷かがやき 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 26日		～	2024年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2024年 11月 26日		～	2024年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学校との情報交換会を行っています	・事業所での取り組んでいる支援計画や利用状況を5領域に合わせて記入したアセスメントシートを利用し、学校と情報共有を行いました	・家庭での様子も共有できるようにシートを作成し、学校での様子も保護者と共有がしやすいように取り組みます
2	・活動内容や支援方法について会議やミーティングの時間を設けています	・月1回、週1回と時間を設け、子ども達の様子や利用児の特性に合わせて、活動内容を決めています	・特性に合わせた個別支援の時間を設けます ・会議録を作成し、その都度、確認ができるようにしています
3	・保護者送迎時に、活動の様子や家庭での困りごと等、話しができます	・職員間で、利用児の様子等を共有し、保護者に伝えられるように取り組んでいます	・保護者に直接、伝えるのが難しい際には、子どもの様子を写真やメール等で伝えています ・『いつでも相談してください』と相談がしやすいように配慮をしています

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の学童クラブのこどもたちとの交流の実施ができていません	・事業所間の交流を長期休みで計画して実施していましたが、感染症対策で実施できなくなりました。	・地域の学童クラブなど長期休みに実施できるように計画していきたいと思います
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 聖隷かがやき（放課後等デイサービス）

公表日 2025 年 1 月 21 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	人数に応じて部屋の大きさなども調整することができている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	視覚支援でホワイトボードやイラストを用い、子どもたちが自分の場所やペアになる友達など理解できるように工夫している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	ミーティングや会議で職員間で話し合っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	定期的な外部研修に参加している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	日々の記録にて職員間と振り返り、支援の改善を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	個別のケースにて対応している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	情報交換会を実施することができている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		・年間の計画の中で地域の学童クラブとの交流する機会を提供していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	送迎時や定期的な面談にて、保護者とのコミュニケーションを図り、子どもの状態や様子など伝え、また随時相談に応じている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	△ ▽ ○	△ ▽		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	△ ▽ ○	△ ▽		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	△ ▽ ○	△ ▽		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	△ ▽ ○	△ ▽		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	△ ▽ ○	△ ▽		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	△ ▽ ○	△ ▽		・園芸や農作物作成の時に地域の方との交流を計画していきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	△ ▽ ○	△ ▽		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	△ ▽ ○	△ ▽		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	△ ▽ ○	△ ▽	・保護者の了解の上、病院へ同行し、医者からの話や情報を共有をさせていただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	△ ▽ ○	△ ▽		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	△ ▽ ○	△ ▽		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	△ ▽ ○	△ ▽		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	△ ▽ ○	△ ▽	発生したときには書面にて記録し、内容を職員間で共有した上、再発防止に取り組んでいる	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	△ ▽ ○	△ ▽	研修を実施しています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	△ ▽ ○	△ ▽		

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	聖隷かがやき 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 26日		2024年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69	(回答者数) 54
○従業者評価実施期間	2024年 11月 26日		2024年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2024年 11月 26日		2024年 12月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 保育所、学校等との情報交換がより強化される (現場の状況を見ながらタイムリーに話し合える)	・ 現場の雰囲気や状況を見て、子ども達の自然な姿が見られるように配慮している	・ 学校の新学期、年度初めは環境の変化が大きいため、先生達との情報共有から、受け入れられる時期なども話し合っていく
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 保護者のニーズのタイミングと学校等の受け入れられるタイミングが合わない時があります	・ 移行支援のひとつとしての保育所等訪問の説明不足	・ 保育所等訪問への周知、理解へ取り組んでいきます
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025 年 1 月 21日				
聖隷かがやき 保育所等訪問支援事業						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	▲ ▼	▲ ▼ ○	使用したことがないためわかりません	保育所等訪問のニーズ、課題から必要に応じて教具教材を検討していきます
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか	▲ ▼ ○	▲ ▼		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	保護者への報告後、職員間で情報共有を行っています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	ケース会議など行政、学校、関係者と連携を図っています	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	自立支援協議会に参加して、地域の課題等に関係機関の方々と話し合う場があり、顔の見える関係性につながっています	保育所等訪問への周知が難しいので、自立支援協議会と連携していきたい
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	朝礼時に情報共有を行っています	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼	チェック表など用いり、虐待防止への職員への意識向上に努め、また、職員同士とのコミュニケーションも図っている	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	▲ ▼ ○	▲ ▼		

事業所名	公表日	2025 年 1 月 21 日
聖隷かがやき 保育所等訪問支援事業	利用児童数	69 人 回収数 8(訪問先回答数)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6	2		とても参考になっています。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	3	0	実際に困っているときにどういう対応をしているのかあまりわからないので、どちらともいえない感じです。	情報共有の場面で支援方法等について相互理解ができるように努めます
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6	2	0	・子どもの状態を共有し、子どもに対しての新しい発見をする機会にもなっているのでありがたいです。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	3	0	・一人ひとりの情報を共有することで、その子に対しての対応の仕方や状態を把握できていると思います。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	5	3	0		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

・保育所等訪問支援の機会があまりなかったため、また、機会がある際には質問等出来たらと思
います。

・各クラス担任との担当者会議（情報共有）の際には、保育所での様子を伝えたり、かがやきで
の様子、支援の仕方など聞かせていただいています。密に連携がとれるとありがたいです。

・子どもたちの笑顔がたくさん見られるよう、また成長を共有できるようにしていけたらいいな
と思います。

・訪問するとき、交流担任の方へ直接話がありました。在籍は支援級なので、まずは、支援級担
任へ声をかけるべきなのでは？と思いました。

・一緒に悩んでいること、困っていることを共有できるのがありがたいです。保護者の意向や現
在考えていることを伝えてくださるのでありがたいです。

・保育所等訪問事業があることで、支援の必要な子どもに対しての具体的な関わり方、こうい
う時はどんな言葉かけをした方がよいのか、また、保護者の方との関わり方など学ぶ機会になりま
すのでありがたいです。

・園での様子、園での悩み等にも一緒に向き合って下さり、利用児（家族）の支援を共にさせて
いただき心強いです。

・保育所等訪問の必要性に応じ訪問させていただいております。訪問の際にはご相談に応じま
す。

・並行通園先との連携は大事ですので、今後も連携を図って参ります。

・学校訪問では交流クラス、支援クラスと各担任の先生の把握の上、訪問させていただいてお
ります。

・学校の先生方、保育所、幼稚園、子ども園の後方支援としても保育所等訪問の際には質問、
ご相談、情報共有をさせていただいております。